

No.  
178

しらかぶ

# 議会広報

2024年5月発行

(令和6年)



占冠保育所入園式

## 第1回臨時会

- 道の駅の使用不許可処分を審査

## 第2回定例会

- 除雪委託料を増額
- 学校へのエアコン設置を予算化
- 令和6年度予算可決

## ● 村長の行政報告

## ● 村政執行方針

## ● 教育行政執行方針

## ● 予算特別委員会

## 一般質問 6議員

- これからの村の繁栄をいかに築くか
- 道の駅自然体感しむかつぶの運営管理
- 真冬の避難所対策について
- 村内各地区の避難所の現状や備蓄内容について
- 公務員の副業・兼業
- 農地の地域計画に向けた行政推進策
- 企業版ふるさと納税830万円達成！
- 湯の沢温泉木質バイオマスボイラー・ボイラー室の効率改善
- 湯の沢温泉の熱交換器の修繕(取替)について
- 双珠別川の砂利処理の進捗は
- 指定管理者と村との関係



《 議会広報や議事録全文は  
村ホームページでご覧になれます。

第1回  
臨時会

第2回  
定例会

# 道の駅使用不許可処分を審査

## 除雪委託料を増額補正 学校へのエアコン設置を予算化 令和6年度予算可決

令和6年第1回臨時会は、1月25日に開催され、一般会計補正予算を審議し、原案どおり可決されました。また、道の駅の使用不許可処分に関わる諮問を受け、総務産業常任委員会で審査し、審査請求を棄却しております。(傍聴 25日0名)

第2回定例会は3月7日から15日まで9日間の会期で開催され、6名の議員が一般質問しました。また、村政・教育行政執行方針の説明・質疑を行いました。条例の一部改正、令和5年度各会計補正予算などの審議が行われ、すべて原案どおり可決しました。

令和6年度各会計予算については、予算特別委員会（木村委員長）に付託し、13日に審査可決されました。  
(傍聴 7日3名・8日1名・12日1名・13日0名・15日0名)

### 【第1回臨時会】

#### 令和5年度補正予算

●一般会計補正予算（第8号）  
ふるさと寄附金等に関わる予算が増額されました。

#### 諮問・訴えの提起

●公の施設を利用する権利に関する処分に対する審査請求  
道の駅の使用不許可処分に関わる諮問をうけ、総務産業常任委員会に付託し、審査したところ裁決書案のとおり、審査請求を棄却すべきと答申されました。

#### ●訴えの提起

道の駅の建物使用許可期限が過ぎており、明け渡しが見込まないことから、訴えを提起するものです。

### 【第2回定例会】

#### 専決処分の承認

●一般会計補正予算（第9号）  
●診療所会計補正予算（第3号）  
緊急を要するため、トマム診療所の修繕に関わる費用を増額するものです。

#### 財産の無償貸与

●土地の無償貸付  
シムカブ原野48番6の内8097㎡を令和11年3月31日まで上川南部森林管理署に無償貸付するものです。

#### ●土地・建物・物品の無償貸付

土地（シムカブ原野48番の6内 5031・25㎡）建物（木造造り平屋建て4棟、延べ304.7㎡）物品（油圧ショベルグラップルソー仕様他4物

件）を（一社）占冠村木質バイオマス生産組合に令和11年3月31日まで無償貸与するものです。

#### 指定管理者の指定

#### ●湯の沢保養施設

（株）スポーツピア占冠に令和6年4月1日から令和9年3月31日まで指定しました。

#### 質疑

問 プロポーザル方式での募集期間と方法を伺います。

（下川議員）

平岡企画商工課長 募集期間は1カ月ほど設け、掲示板やホームページで募集を募りました。

再問 限定的と考えられますが、今後もこの方法で周知しますか。  
（下川議員）



平岡課長 ベストとは言い切れないので、検討していきたいと考えております。

#### ●トマム給油所

（二社）トマムスタンドに令和6年4月1日から令和9年3月31日まで指定しました。

#### 質疑

問 法人の内容及び運営に必要な

資格について伺います。

（木村議員）



平岡課長 この法人はトマム給油所を運営するにあたり、上トマムの住民が構成員となっている団体です。

松永副村長 代表者が危険物取扱者乙種第4類の資格を持っており、適正に運営できると考えております。

●占冠村小規模多機能型居宅介護施設

（社福）占冠村社会福祉協議会に令和6年4月1日から令和9年3月31日まで指定しました。

#### 条例の改正

●特別職の職員で非常勤のもの  
の報酬及び費用弁償に関する  
条例の一部改正

農業委員会の委員の報酬を法令の改正や他市町村の実態などを考慮し、改正するものです。

●占冠村特定教育・保育施設及び  
特定地域型保育事業の運営  
に関する基準を定める条例の  
一部改正

●占冠村放課後児童健全育成事業  
の設備及び運営に関する基  
準を定める条例の一部改正



# 第1回臨時会・第2回定例会

令和5年度 補正予算 ～第1回臨時会～	
<b>一般会計(第8号)</b>	<b>4,740万円増</b>
総額29億3000万円⇒29億7,740万円	
・物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金	1,109万8千円増
・ふるさと寄附金	3,000万円増
・財政調整基金繰入金	630万2千円増など

令和5年度 補正予算 (専決処分)	
<b>一般会計(第9号)</b>	<b>700万円増</b>
総額29億7,740万円⇒29億8,440万円	
・診療所会計繰出金	700万円増
<b>村立診療所(第3号)</b>	<b>700万円増</b>
総額 8,530万円⇒9,230万円	
トマム診療所	修繕料 700万円

令和5年度 補正予算 ～第2回定例会～	
<b>一般会計(第10号)</b>	<b>3,600万円増</b>
総額29億8,440万円⇒30億2,040万円	
・福祉基金積立金	3,544万円増
・村道除雪委託料	620万4千円増
・村道等管理委託料	268万1千円増
・空調工事実施設計委託料(小学校)	385万円増
・村内小学校大規模改造工事	1,914万円増
・空調工事実施設計委託料(中学校)	99万円増
・村内中学校大規模改造工事	480万7千円増
その他執行予算残の整理による減額等	
<b>国保事業(第3号)</b>	<b>190万円減</b>
総額1億4,770万円⇒1億4,580万円	
・一般被保険者療養給付費	150万円減など
<b>村立診療所(第4号)</b>	<b>50万円増</b>
総額9,230万円⇒9,280万円	
・トマム診療所 医療機器更新	50万円増など
<b>簡易水道(第3号)</b>	<b>100万円減</b>
総額1億2,260万円⇒1億2,160万円	
・簡易水道事業公営企業法適用化移行業務	116万6千円減など
<b>公共下水道(第3号)</b>	<b>150万円減</b>
総額1億3,350万円⇒1億3,200万円	
・公共下水道事業公営企業法適用化移行業務	110万円減など
<b>後期高齢者(第2号)</b>	<b>40万円増</b>
総額2,020万円⇒2,060万円	
・保険料等負担金	40万円増
<b>歯科診療所(第3号)</b>	<b>80万円減</b>
総額2,300万円⇒2,220万円	
・国民健康保険診療報酬収入現年度分	126万円減など

**● 占冠村家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正**

国の省令で安全計画策定の義務化、また、内閣府令での関係基準が改正されたことにより条例の一部を改正するものです。

**質疑**

**問** 安全計画はどのように策定され、運用開始はいつになりますか。また、保護者への周知方法、研修や訓練の定期的な開催について伺います。

(下川議員)

**森田子育て支援室主幹** 定期的な施設設備点検、避難訓練(1回/月)、安全に関する訓練(110番・119番通報訓練)、緊急措置等の研修などの計画を年度内に策定し、文書で保護者や関係者へ周知する予定です。

**● 占冠村障がい者地域生活支援事業条例の一部改正**

「コミュニケーション支援事業」が「意思疎通支援事業」に変更になるとともに事業内容が、知的、発達、高次脳機能等の障がい者等にも対応できるよう改正するものです。

**● 占冠村有償旅客自動車運送事業の設置及び管理に関する条例の一部改正**

トマム線の終点を「道の駅南ふらの」に変更することに伴い、運行区間及び運賃表を改めるものです。

**● 占冠村簡易水道事業給水管理条例の一部改正**

水道法の改正に伴い、事務の一部の権限が厚生労働大臣から国土交通大臣に移管されたことによるものです。

**● 占冠村介護保険条例の一部改正**

「介護保険法施行令」の改正によるものです。

<b>令和5年度補正予算</b>	<b>令和5年度補正予算</b>
<b>国保事業(第3号)</b>	<b>190万円減</b>
総額1億4,770万円⇒1億4,580万円	
・一般被保険者療養給付費	150万円減など
<b>村立診療所(第4号)</b>	<b>50万円増</b>
総額9,230万円⇒9,280万円	
・トマム診療所 医療機器更新	50万円増など
<b>簡易水道(第3号)</b>	<b>100万円減</b>
総額1億2,260万円⇒1億2,160万円	
・簡易水道事業公営企業法適用化移行業務	116万6千円減など
<b>公共下水道(第3号)</b>	<b>150万円減</b>
総額1億3,350万円⇒1億3,200万円	
・公共下水道事業公営企業法適用化移行業務	110万円減など
<b>後期高齢者(第2号)</b>	<b>40万円増</b>
総額2,020万円⇒2,060万円	
・保険料等負担金	40万円増
<b>歯科診療所(第3号)</b>	<b>80万円減</b>
総額2,300万円⇒2,220万円	
・国民健康保険診療報酬収入現年度分	126万円減など

**令和5年度補正予算**

**質疑**

**問** 村税の法人割は前年度から1400万円ほど減額して予算化されていたにも拘らず、今回の補正予算で1800万円増額となった理由を伺います。

(木村議員)

**三浦総務課長** ここ数年のコロナ禍に影響を受け、歳入が予算割れとならないよう抑制的な計上をしております。増額の主な要因はトマムリゾートの関連会社1件の増額によるものです。

**小林建設課長** 令和4年度の11月分12月分と比較して降雪量10cm以上の時が多くなっております。また、オペレーターの丁寧な作業もあり、1回あたりの稼働時間が長いものになっているためです。

**問** 社会資本整備総合交付金工事は508万7千円減額されていますが、公営住宅の取り壊し費用であるか伺います。

(小尾議員)

**小林課長** 湯の沢温泉の公営住宅解体工事となります。調査に



感じているところですが増額となった理由を伺います。

(小尾議員)

**問** 学校施設環境改善事業繰越明許費のエアコン設置の台数と実施時期を伺います。

(下川議員)

**木村教育次長** 小中学校合わせ14台を見込んでいます。実施時期は、夏に間に合うように考えています。

**問** 歯科診療所事業特別会計の診療収入が減額となっております。国民健康保険診療報酬では半分もの額が減額になっております。この理由を伺います。(木村議員)

**伊藤住民課長** 令和4年度の実績から判断しております。

**再問** トマム歯科と占冠歯科の内容を詳しくお願いします。(木村議員)

# 村長の行政報告

**伊藤課長** 令和4年度実績は  
占冠歯科診療所91万7千円、ト  
ムム歯科診療所91万7千円（受  
診者113人）令和5年度は  
1月までで占冠歯科診療所  
567万5千円（623人）、  
トムム歯科診療所52万4千円  
（82人）となっております。

**岡** 当初予算を同じ額で見込む  
ためこのような状況になると思  
われます。令和6年度も同じ額  
となっております。（木村議員）  
**伊藤課長** 令和6年度は精査し  
ながら進めたいと考えています。

## 村長の行政報告

**①根室線（富良野・新得間）代  
替交通について**

平成28年8月の連続した台風  
により甚大な被害を受けた根室  
線（富良野・新得間）については、  
JR北海道が単独で維持するこ  
とは困難な路線として公表した  
ことから、本村においても根室  
本線対策協議会に加入し、協議・  
要請活動等に参加してまいりま  
した。

国が公表したJR北海道への  
支援継続方針では、国からの支  
援の道筋は示されなかったこと  
から、JR北海道、北海道、関  
係4市町村で協議を進めてまい

りましたが、根室線（富良野・  
新得間）の鉄道事業は廃止とな  
り、令和6年4月1日から代替  
交通としてバス運行がスタート  
します。

この間、まずは被災した鉄路  
を復旧し、その上で鉄路のあり  
方を検討するよう求めてきた本  
村にとっては大変残念な思いは  
残りますが、根室線（富良野・  
新得間）鉄道事業廃止に伴う新  
しい交通体系については、関係  
者との協議により既存バス路線  
の延伸・増便や停留所の増設・  
移設、新規バス路線の設定に加  
え、各交通との接続性にも配慮  
することで持続可能な地域交通  
を確保することといたしましたし  
た。本村といたしましては、ト  
ムム線の延伸やバス停の移設  
富良野市内での乗降を可能とし  
たほか、南富良野町営バスを利  
用することにより、地域公共交  
通サービスが低下しないよう努  
めてきたところです。

今後も占冠・金山間のデマン  
ド運行を検討するなど、持続可  
能な交通体系の構築に努めてま  
いります。

**②トムム診療所灯油漏れについて**  
令和6年1月15日に発生した  
村立トムム診療所の灯油漏れの  
対応について、ご報告申し上げ  
ます。

灯油漏れの原因につきまして  
は、冬期間の凍上により地下の  
灯油配管の一部が押し上げら  
れ、配管接続部分が引つ張られ  
て緩み、灯油が漏出したものと  
考えられます。

対応につきましては、地元業  
者に依頼し、2月1日から22日  
まで漏洩箇所の含油土砂の掘  
削除去、滲出油水の回収除去を  
行ったのち、砂利による埋め戻  
しを行い、処理を完了しており  
ます。作業により排出された含  
油土砂及び油水は、処理業者へ  
搬入し適正に処理しております。

経過観察としては、定期的に  
職員による目視観察を行い、周  
囲での油膜、油臭の発生の確認、  
融雪又は降雨による排水溝や河  
川への流出の有無の確認を当面  
行っておりまます。また、再発  
防止の観点から、灯油タンクや  
配管設備の点検と改善を図って  
まいります。



トムム診療所 灯油漏れ状況

**③占冠村をロケ地とした映画  
上映について**

この度、本村や東川町等で撮  
影が行われた映画「莉の対（れ  
いのついで）」がオランダで開催  
された第53回ロッテルダム国際  
映画祭のタイガーアワードで最  
優秀作品賞を受賞され、去る2  
月26日、監督の田中稔彦さん、  
監督補の池田彰夫さんが受賞の  
報告に来村されました。本村で  
撮影された映画が世界的に有名  
な映画祭で最優秀作品賞を受賞  
されたことは、大変名誉なこと  
であり、村民の皆様はもとより、  
村といたしましても喜ばしいこ  
とであります。

また、現在上映中であり、好  
評を得ております映画「ゴール  
デンカムイ」の先行上映会が1  
月9日に札幌市で行われ、撮影  
に協力させていただいたご縁か  
らご招待をいただき、鑑賞して  
まいりました。

占冠村の豊かな自然を舞台に  
映画やテレビ等の作品を制作し  
たいといったお話をいただいた  
折には、近隣住民の皆様のご理  
解、自然環境の保全・保護を最  
優先としながら、本村の知名度  
の向上、関係・交流人口の増加  
による地域振興につなげていく  
きっかけになるよう、可能な限  
り協力してまいりたいと考えて  
おります。

## 活動報告

○令和5年度富良野沿線  
市町村議会議員研修会  
(12月21日)

富良野市で開催され、全  
議員が出席しております。

内容は、登別市議会議長  
辻 弘之 様から「議員の  
なり手不足問題への取り組  
み・なり手を育てる」をテー  
マにした講演でした。





# 村政執行方針質疑

## 村政執行方針質疑

### ▼主な施策

### 1 持続可能な地域づくり

- 1 未来を拓く村政
- (1) 地方自治・地方創生の推進
- (2) 道の駅周辺整備の推進
- (3) 子育て・教育施設整備の推進
- (4) 特産品開発の推進

### 2 経済循環が図られる基幹産業の振興

- (1) 農業
  - ① 酪農・畜産
  - ② 畑作振興
  - ③ 担い手対策
- (2) 林業
  - ① 村有林の管理・経営
  - ② 私有林の育成支援
  - ③ 林業事業者への支援
  - ④ 林業の六次産業化
- (3) 商工・観光・労働
  - ① 商工振興
  - ② 観光振興
  - ③ 双民館
  - ④ 労働

### 3 地域特性を生かした集落対策、移住・定住・関係人口の拡大

- (1) 移住定住
- (2) しむかつぶ・村づくり寄附金と企業版ふるさと納税

### 2 安全で安心な暮らしを守る基盤づくり

- 1 暮らしの基盤づくり
  - (1) 道路
  - (2) 村営住宅
  - (3) 上下水道
  - (4) 環境衛生
  - (5) 地域交通
  - (6) 地域協働への取組
  - (7) 防災対策
- 2 地域医療の充実と住民ニーズに即した福祉施策
  - (1) 高齢者福祉
  - (2) 地域福祉・障がい者福祉
  - (3) 保健・医療
    - ① 保健予防
    - ② 母子保健
    - ③ 国民健康保険事業
    - ④ 村立診療所及び歯科診療所

### 3 未来を託す子どもの環境づくり

- 1 子育て支援の拡充と1歳児保育の実現
  - 2 学習環境の整備
  - 3 特色ある教育
- ※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。



## 下川 園子 議員

### 1 子育て支援制度の拡充とは

**問** 「総合的に幼児期から中等教育までの子育て支援制度の拡充」とは、どのような支援を充実させていくのか伺います。

**田中村長** これまでも、子育て支援については、拡大、新設を行ってきております。そういったことから、現状で需要、要望のある事案について拡大をしたということ、具体的には乳幼児の1か月検診、新生児聴覚検査費用助成額の拡大などを考えています。

**再問** 子育て支援拠点の設置場所はどこに設けるのか伺います。

**田中村長** 占冠保育所内の交流広場に設置し、会議室も利用したいと考えています。

### 2 道の駅周辺整備の基本計画策定とは

**問** 今年度基本計画を策定するとありますが、この策定についてはどのようにメンバー構成をし、どのようなスケジュール感で基本計画を作っていくのか伺います。

**田中村長** 道の駅周辺整備の推進の本基本計画については、現



道の駅周辺

状の周辺環境の見直しをするのが基本的にあります。そのため専門事業者の委託業務を終えることとあり、基本計画は地形測量、概略設計、駐車場の通行方法等々を調査委託をし、国道や道道、地権者等々と協議するに当たり、しっかりとした村の計画を提示しながら、協議を進めたいということです。6年度において地形測量、概略設計等々、7年度で詳細設計、あるいは用地確定買収、それから関係機関との協議等々の後に、本工事を8年度から実施したいと考えています。

### 3 地域交通占冠ー金山間のデマンド運行の検討とは

**問** デマンド交通の運行について、どういった検討をし、どのように進めていくのか伺います。

**田中村長** 今回JR根室線の廃止を受けて、富良野ー金山までは民間バスが運行するということがありますが、占冠までの接続がなく、昨年の住民懇談会でも接続の要望もございました。村としても積極的に走らせたいと考えており、金山とのデマンド交通でどうかということ、まずは持続可能性や合理性などを考慮しながら、利用者ニーズや運行経費の算定、あるいは事業者の確保などについて、調査、検討をしていくということにしております。現状では金山の最終便には、部活バスが走っておりますので、これを一般利用ができるかできないか含めて、早期の導入を図るために調査もしていきたいと思っております。

# 村政執行方針質疑

小尾 雅彦 議員

## 1 林業施策について

**問** 森林環境譲与税を有効に活用した事業の充実で林業六次化、ゼロカーボン推進が期待されますが、具体的な素案を伺います。

**田中村長** 林業労働者の安全

装備品、自動注射器の助成、賃貸住宅料及び退職金共済における事業主掛け金の補助を行ってきました。寄附採納された森林整備と作業道補修を行い、ゼロカーボンの施策へ寄与したいと考えています。

## 2 酪農・畜産について

**問** 飼料価格や化学肥料の高騰により営農経費が増加していますが、今後におけるの農家支援について伺います。

**田中村長** 新年度予算では具体的

な計上はありませんが、必要な支援を国、道、他市町村の取り組みを注視し、適切な対応をしてみたいです。

**問** エゾシカ、ヒグマの鳥獣被害対策（シカ柵）で草地での設置検討とありますが、資材費、設置費の高騰等の課題があり、

実現可能か伺います。

**田中村長** 国の事業採択は厳しい状況下にあります。農業者からの要望もあり、被害状況を収集して設置に向けて取り組みます。

**3 村有林管理・経営について**

**問** 森林環境譲与税を元に、寄附継承された森林整備を計画的に進める記述について、伐採跡地の針広混交林や広葉樹を増やす施策を取り入れて、寄附者からの意向を十分満たすべきと思いますが村長の考えを伺います。

**田中村長** 苗木を植栽する際

気象や地形等の土地の立地に着目し、野生鳥獣の生息状況や周辺の人口造林地の育成状況を考慮して苗木選定を行っております。

**田中村長** 苗木を植栽する際

林業事業者への支援について、林業労働者の労働条件が満たされなければ就労が長続きしないことから、福利厚生の手厚い助成策が求められます。村長の考えを伺います。

**田中村長** 福利厚生は第一に事業主の責務と考えますが、助成にあたっての基本は林業の担い手確保と林業災害の絶滅です。林業・林産業の労働条件が他産

業と比較して低位にあることは承知しており、改善が急がれるところではあります。

**問** 木質バイオマス生産組合の事業運営は、老朽化した重機類の損傷状況など、円滑な運営には、村からの支援が要されま

す。特産品開発事業で施設も更新予定ですが、今後の業務体制を含めた方策を伺います。

**田中村長** 現段階では業務体制を含めた方策は明らかにできませんが、協議中であると推察しており、方向性をもって村も支援していきたいと考えています。

**3 国民健康保険事業について**

**問** 北海道国民健康保険運営方針を踏襲して、令和12年度までの保険料統一に向け、村として令和8年度までの3年間で資産割を廃止して、所得水準に合わせた賦課割合にするところありますが、7年後に迫る激変緩和措置の方策の考えを伺います。

**田中村長** 本村における課題

として、令和8年度までに資産割を廃止し、12年度までに統一保険料の水準まで税率改正することで、応能割と応益割の構成に配慮し、北海道へ納付する金額が確保できるよう税率改正を

行っていく必要があります。急激な被保険者負担の上昇を抑えるため国保財政調整基金の繰入を行いながら残りの6年間で計画的に税率改正を行っていく考えです。

**1 宿泊税の導入について**

**問** 宿泊税については、一関係者と協議を進め、早期導入を目指してまいります。の表現と

なっております。宿泊税の導入を

目指す市町村は、早い時期に条例を制定する活発な動きが見受けられます。村の場合は、協議から一歩踏み出して宿泊税の条例提案が一番のポイントになると考えます。宿泊税条例の提案時期について伺います。

**田中村長** 宿泊税について早期に条例を制定したく、9月議会に提案し、総務相の同意を得て令和7年4月1日導入を目指し努力します。

小林 潤 議員

## 1 宿泊税の導入について



**問** 北海道は、宿泊税専任の担当局長を新年度から配置すること、担当職員の増員を行うこと、新聞で報道されているが、

村もこの1年は大事な時期を迎えると思うが、担当職員を増やす考えはあるのか伺います。

**田中村長** 現状の職員の中で対応したいと考えております。

## 2 避難訓練について

**問** 避難訓練は、毎年実施しており一定の評価はできると考えております。避難訓練参加者を募って行っているようですが、避難に介助が必要な高齢者や身体に障がいのある方を、訓練では見受けたことがあります。介助、介護が必要な方も含めた避難訓練をしなければ、行政の担当者も、当事者にとっても今までの訓練では安心感が得られないと思います。今後の訓練でこのような方も参加しての避難訓練を検討できるのか伺います。

避難訓練では、テントで覆ったプライバシー保護仕様の段ボールで作られた簡易トイレも設置されておりましたが、介助の必要な高齢者や障がい者にとっても、使い勝手の良いトイレでなければなりません。検証が必要と思いますが考えを伺います。

**田中村長** 過去に社協に協力をいただき「とまろ」利用者に訓練に参加していただいた事例

が、新聞で報道されているが、



# 村政執行方針質疑

があります。新年度におきましては、社会福祉協議会など関係者との協議を早期に開始して、より実践的な訓練となるよう進めてまいります。

現在車いすの方が使えるトイレハウスを6台用意しています。が、より使い勝手の良いものになるように、改善していきたいと思えます。

### 3 猟友会員の養成について

**問** 農業被害の軽減と酪農畜産農家の経営安定化のため、猟友会員は有害鳥獣の捕獲を行っています。12名の会員がおりますが、実質6〜7名しか捕獲に従事できないという状況で会員に負担が掛かり過ぎておられるように思えます。負担軽減のため、どのようなことを考えているのか伺います。

**田中村長** 捕獲数のノルマを課していることはありませんし、それぞれが自身の職業や家庭生活との兼ね合いの中で、可能な範囲で捕獲に努力をいただいております。安全講習や一斉捕獲事業を通じて効率よりも法を順守し安全を第一とする従事者教育を行い、まずは既存の従事者の質の向上に努めていきます。

### 4 夏季休業日の拡大について

**問** 学校の休業日の総日数を拡大するとあるが、昨年12月定例会の一般質問での教育長答弁で村立学校規則を改正して総休業日数を50日から56日とし、夏休み期間を25日から30日で協議を進めているということでした。夏休みが5日増えることで各学校の授業時間の確保に支障ないのか、学校行事を減らすことはないのか伺います。

**田中村長** 影響のないよう校長会とも協議をしております。授業時間、学校行事の時間確保も含めてそれらを配慮しながら導入していきたいと聞いておりますので、村としてもそういった方向で支援してまいります。

## 大谷 元江 議員

### 1 特産物開発の推進

**問** アカエゾマツの新芽、イタヤカエデの樹液、メープルシロップを活用したジンとリキュールの開発は「ふるさと納税を利用」とありますが、どの部分を利用して行うか伺



います。**田中村長** 個人からの「ふるさと納税」を財源として事業を進めます。

います。**田中村長** 個人からの「ふるさと納税」を財源として事業を進めます。

### 2 村営住宅

**問** 用途廃止により、解体除去の実施で空き地化が進んでいますが、空き地利用の方向性を伺います。

**田中村長** 令和6年度に除去する住宅は、宮下B団地2棟を予定しており、川添団地の一部建て替え先として考えており、その他の空き地も住宅用地としても活用できるのではないかと考えています。民間住宅への情報提供を行っています。

### 3 高齢者福祉

**問** 「とまろる」について安全で安心に施設を利用するために、介護者の人員確保が大事と考えていますが、社会福祉協議会との連携を伺います。

**田中村長** 村として人件費をしっかりと計上したうえで指定管理をお願いしており、社会福祉協議会での募集にも限界がありますので、村内の人材や知り合いに働き手がいないかを含めて、再度、掘り起こしを行いながら介護職の確保に向けて取り組

組みます。

## 細谷 誠 議員

### 1 新年度において越えなければならぬ課題、それぞれの具体的な施策内容

**問** 「新年度において越えなければならぬ課題は多くありますが、産業経済基盤の支援、人的資源の確保、地域コミュニティの活性化、自主財源の確保など、施策を考慮した政策を進めてまいります」とあります。それぞれ具体的な施策内容を伺います。



**田中村長** 一義的には自主財源の確保ということが上げられると思います。こういったものを、ふるさと納税あるいは宿泊税、国庫補助事業の活用、有利な起債等の活用等を図りながら、様々な課題に対応できるように財源基盤を確立することが大事だろうというふうに思っております。

ら、効率化を図りつつ財政の健全化を保つ」とありますが、効率化を図るとは具体的にどのような内容が伺えます。

**田中村長** 財政の効率化といいますが、いろいろなところから私どもも思っておりますけれども、現状でいきますとやはり、村内の施設の修繕、工事等の一体化、一本化、あるいは、有利な起債等を活用した施工等も含めて効率化を図っていかねばならないと考えております。

### 3 道の駅周辺整備の推進

**問** 道の駅周辺整備の推進、整備構想、利用促進の方策について腹案等はあるのか伺います。

**田中村長** ポケットパーク側入り口から大型バスやトラックがすれ違えないので、その道路改良を検討することが上げられます。またコミプラ裏の村道を中央団地、診療所方向へ延伸してアクセス利便性の向上に資することもあろうかとも思っています。いずれにしても、地域、地先住民の方や関係機関との合意形成がなされた形での内容になってくると考えております。道の駅全体の利用促進方策については、これといった決まった腹案は持ち合わせていませんけれども、今後、関係者とも協議

# 村政執行方針質疑

を進めていきたいと思っております。

## 4 特産品開発の推進

**問** ジン・リキュールの開発計画、これは6年度中に販売まで行う計画になっているのか伺います。

**田中村長** できれば今年の50回ふるさと祭りでPRして味見をしていただけるよう進めているところでありまして。

## 5 担い手対策

**問** 担い手対策は今後農業だけではなく、様々な職種で人材不足になると思われますが、他の職種の担い手対策を伺います。

**田中村長** 農業以外の担い手対策ですが、占冠村地域企業振興条例あるいは人材育成支援事業、雇用支援による事業者支援を考えておりまして、新年度予算においても計上をしております。

## 6 上下水道

**問** 上下水道の維持、更新、改修には多額の費用が必要ですが、前年度ストックマネジメント準備計画、維持管理計画はこの計画を踏まえた内容となっております。

いるのか伺います。

**田中村長** 下水道について令和5年度に社会資本整備総合交付金を要望しております。令和6年度、7年度の2か年で処理場、マンホールポンプ施設のストックマネジメント計画を策定します。1年目は対象施設の点検調査、2年目は評価及び計画策定を行う予定になっております。水道事業の役割を踏まえて持続可能な水道事業の実現を目的に明確な目標を定め、様々な施設の状況を客観的に把握して評価し、長期的な施設の状況を予測しながら下水道施設を計画的かつ効率的に管理したいと思います。

## 7 財政運営と地域振興

**問** 財政調整基金・特定目的基金残高は令和2年、3年から半減しております。今後の財政はますます厳しい状況にあります。どのような対策を具体的に考えているのか。また、魅力ある地域づくりを考えた人口増、税収増、攻めの財源運営・地域振興とはどのように進めるのか伺います。

**田中村長** 村としてはふるさと納税、宿泊税、国庫補助事業の活用、有利な起債との活用をより具体的に活用を進めながら財

政に活かしていきたいというふうにも思っております。合わせて、経常経費の削減も大切であり、実際の歳入を増やす努力が必要であります。それが攻めの財政運営、つまり入ってくるのを待つというよりも、自ら税収、補助金、起債を含めて取りに行く努力、こういったものを強めていかなければなかなか確立をしていけないということでありまして、様々な施策を通じて増収について前向きな取り組みを行うという考え方であります。

## 藤岡 幸次 議員

## 1 森林環境譲与税を活用した森林整備

**問** 森林環境譲与税を活用した森林整備、炭素吸収量の拡大を図るとありますが、具体的な地域と、面積と整備樹木について伺います。



**田中村長** 全体的に高齢樹木の伐採を進め再造林を進めていく考えです。

**杉村林業室長** タンネナイ地区3か所合計で7・49haを計画しています。造林樹木はトドマツを植栽したい。また、森林環境の観点から広葉樹についても同

時に検討していきます。

## 2 安全安心な基盤づくり

**問** 地域協働ボランティアの支援について、どの様な団体へどの程度各地域支援策を計画しているのかを伺います。

**田中村長** 各地域協働のボランティア、有償のボランティア活動があります。特に、ファミリーサポートセンターにおいては、見守り、除雪、人員輸送など積極的に協力いただいております。そのような各団体へ村として支援していきます。

## 3 持続可能な地域づくりの特産品

**問** 特産品としてジンとリキュール開発とありますが、タイムスケジュールと予算規模について伺います。

**田中村長** 既にイタヤカエデの樹液採取、メープルシロップの生産が始まっておりますが、第50回ふるさと祭りで皆さんに披露できるように進めて行きます。予算はおおむね500万円程度を見込んでいます。

## 木村 一俊 議員

## 1 森林環境譲与税の有効活用

**問** 今年から森林環境税が徴収されますが、森林環境譲与税は予算が補正で大きく減額されていきます。こんな状況で有効活用できるのですか。

**田中村長** 労働安全衛生や森林整備に譲与税を遣うように政策的に進めていきます。

## 2 道の駅周辺整備

**問** 道の駅周辺整備と利用促進を図るとの記述があるが、不当占有されている店舗やまだ営業の解決を図るのが先ではないのですか。

**田中村長** 周辺整備や将来の道の駅の在り方を含めて議論して計画をまとめます。

## 3 農業施策の方向

**問** 農業者の減少や高齢化による担い手不足は全国的な問題で、スマート農業の推進やサービス事業者の参画促進という方向に進めるべきと思います。考えを伺います。

**田中村長** 農地面積・農地点在・経営規模を考慮して、農業者がここで食える農業を支援していきます。



# 村政執行方針質疑・教育行政村政執行方針質疑

## 4 双民館

**問** 「双民館」の運営状況を伺います。

**田中村長** やれることをやりながら、ポテンシャルを上げていく努力をして指定管理者と協議し有効活用を図ります。

## 5 水道管の耐震化

**問** 水道管の耐震化への対応を伺います。

**田中村長** 経年劣化が心配されますが、耐震化が図られていないのが現状です。長期計画を立てながら改修していきます。

## 6 占冠～金山間のデマンド交通

**問** 占冠～金山間のデマンド運行よりも「むらびと交通」の充実を考えるべきと思いますが、考えを伺います。

**田中村長** J・Rの代替交通で金山まで来られた方が占冠まで来られるということへの対応です。部活動生に加え一般の方の利用を検討したいということです。

## 7 地域医療の充実

**問** 地域医療の充実は重要な施策です。発熱外来の対応や土日の救急及びトマム・中央の診療日の日割りの問題を伺います。

**田中村長** 医師の確保や医療機器を更新し、医療の充実を図る以外に方法はないと思います。救急は富良野に任せたい。診療日の日割りについては人口規模はトマムと中央では大差がありませんが、現状の割合が適していると思います。

## 8 村の人口減少

**問** 外国人の方を抜いた人口は約千人で昔から見ると減少しています。今までの人口減対策は効果が乏しいと思います。政策転換について考えを伺います。

**田中村長** 今の人口を減らさない政策や努力を続けていかなければならないと考えています。2025年が国勢調査の年で、ここを増やす努力をして交付税に寄与させたいと思います。

## 9 財政調整基金の動向

**問** 財政調整基金残高が令和5年度末で1億8000万円というところで枯渇を危惧します。対応を伺います。

**田中村長** 経常経費の見直しも含め持続可能な財政状況を保つために様々な方法を活用します。

## 教育行政執行方針質疑



### ▼主な施策

### 1 学校教育の充実

- (1) 確かな学力向上の推進
- (2) 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進
- (3) 学びを支える教育環境の推進
- (4) 義務教育学校・小中一貫校の充実

### 2 社会教育の充実

- (1) 生涯にわたる学習機会の確保と充実
- (2) スポーツ活動の充実
- (3) 芸術・文化活動の振興
- (4) 社会教育施設の充実

※執行方針の詳細は、村広報4月号に掲載されています。

### 下川 園子 議員

**1** コミュニティプラザ和室にエアコン設置と施設の開放とは

**問** 一部施設を日常的に開放

し、自由に利用できる取り組みを進めます」「コミュニティプラザ和室に新たなエアコンを設置し、猛暑にも対応していきます」ということですが、一部施設を日常的に開放とは、具体的にどういった施設を検討されているのか。またコミュニティプラザ和室以外にもエアコンの設置を検討される施設があるのか、どういった用途で使われる予定なのかを伺います。

**多田教育長** 一部施設の開放については、昨年度からの継続で、コミュニティプラザを開放していきたいということですが、今まではコミュニティプラザは予約なしで利用がほとんどできない状況でしたので、5年度において「子ども広場」として、小中学生に開放しはじめております。それに関連し、例えばホールの廊下部分などを予約なしで開放できるように形で、考えております。

それから、その他の施設のエアコンに関しては、使用頻度や室温等を考慮しながら導入については検討させていただきたいと考えています。

### 小尾 雅彦 議員

**1** 学びを支える教育環境の推進について

**問** 今年度新たに着任する外国

語指導助手は、姉妹都市アスペン市との調整は順調か。また、着任は何月ごろの予定か伺います。

**多田教育長** 現在、入国審査中その書類をアスペンへ送り、3月中には来日、来村していただきます。万が一遅れたとしても4月中には着任し、英会話教室、その他の授業に支障がないよう取り進めています。

### 2 義務教育学校・小中一貫校の充実について

**問** 合同行事の実施範囲の拡大は、これまでの運動会、体育祭に追加して、学芸会、学校祭を提案しているのか伺います。

**多田教育長** 学芸会、学校祭を想定しているが、関係機関、保護者、地域の皆様のご理解をいただき実施していきたい。

### 3 生涯にわたる学習機会の確保と充実について

**問** 講演会や学習プログラム提供の記述で、すべての世代が学び交流できる場の確保は大変有意義であり、現状、具体的な方策があるのか伺います。

**多田教育長** 公民館事業、自主創造プログラムを継続して活用してまいります。また、清流大での講座を公開に切り替えます。音楽や芸術に関するイベントも計画してまいります。

# 教育行政執行方針質疑

**4** 社会教育施設の充実について

**問** 各施設が老朽化しており、整備は急務ですが具体的な方策を伺います。また、コミプラの多目的ホール長機の更新予定はありますか。

**多田教育長** 大規模改修を含めて、財源計画と合わせて今後取り進めます。コミプラの長機更新は単費での導入は難しいので、令和6年度にて補助事業を検討してまいります。

小林 潤 議員

**1** 体力向上活動支援について

**問** 「全国体力・運動能力等調査結果の分析と実態把握に基づいた体力向上活動支援を継続する」とありますが、体力向上活動支援の具体的な内容を伺います。

**多田教育長** 具体的な支援として、各学校においてこの分析を踏まえ運動機会を増やす取り組みをしていただいております。例えば、休み時間を活用して筋力トレーニング等を実施しています。中学校では分析した結果を表にして、自らの体力のどこが劣っているかを分かるようにして、個人がそれを持つて自分の体力を把握しながら鍛

えていくことができるようになっていきます。

大谷 元江 議員

**1** 芸術・文化活動の振興

**問** 伝統文化の保存、伝承活動を支援しながら、後継者の育成と人材確保とありますが、占冠神楽には興味を持っていらっしゃる子供がいました。しかし、「青巖太鼓」については中々進んでいない気がします。今後の対応を伺います。

**多田教育長** 文化連盟に所属している団体を中心に支援を考えています。太鼓復活を望む声は聞いておりますので、他団体の協力を仰げるかどうか、今年度は模索していきたいと考えています。

細谷 誠 議員

**1** 豊かな心と健やかな体を育む教育の推進

**問** 給食内容の充実、特に地場産食材などの活用など内容の充実を推進していく考えはあるか伺います。

**多田教育長** 給食内容の充実につきましては、給食の中にその地域、圏域の食材を使った給食が提供されています。その地区

に割り当てられた回数を増やせるような努力をしていきたいというふうにご考えています。山菜の他の食材も宣伝しながら、給食に取り込むことを、学校給食センターの方に働きかけていきたいと思っております。

**2** 生涯にわたる学習機会の確保と充実

**問** 講演会、学習プログラムなど、単発ではなく継続的な取り組みを考えてはいないのか伺います。

**多田教育長** 書道教室が継続的な事業になりそうだとこのころです。それから、ヨガ教室についても継続した形でずっと行われている部分もございます。実施するみなさんのニーズを把握しながら、地域の方と協力しながら継続的な取り組みをしていきたいと考えております。

**3** スポーツ活動の充実

**問** 占冠村の豊かな自然環境を活用したスポーツ推進とは具体的にどのような取り組みなのか伺います。

**多田教育長** 人工的なものは作れませんが、自然を活用した中で散策路ですとか、歩くスキー、スノーハイクなどを考えております。家から30分とか1時間歩いて家にまた帰ってこれるような形でなにかできないかという

ところで、事業所の方の知識等を借りながら、コース選定等をしていければと考えています。

藤岡 幸次 議員

**1** 社会教育の充実、生涯学習の機会の確保

**問** 社会教育の充実に関して、本村はインバウンドを多く迎える環境下にあります。社会教育として国際理解と教育をどの様に織り込み取り組むのか伺います。

**多田教育長** アスペン市との中学生の短期交換留学と同様に、社会人教育においても、同様に職業体験留学を検討してまいります。一例を上げれば、保育、スキーパトロールなど、国際理解交流研修に結びつける事となればと考えます。

木村 一俊 議員

**1** 「学力・学習調査」の学力・運動能力等調査の結果分析

**問** 「令和5年度全国学力・学習調査」「全国体力・運動能力等調査」の結果分析について伺います。

**多田教育長** 学力・学習調査の方は正答率が全国平均を上回っております。体力・運動能力等の方では道平均はクリアですが、

全国平均には届いていない部分もあります。

**2** 特別支援員等の増員

**問** 特別支援員等の増員について伺います。

**多田教育長** 応募はないですが関係団体の協力を得ながら、人材を探します。

**3** コミュニティスクールと学校支援地域本部の現況

**問** コミュニティスクールと学校支援地域本部の現況を伺います。

**多田教育長** 一体になった活動ができていないのが実態です。話し合いで取り組めます。

**4** コミュニティスクール議会

**問** CS議会について伺います。

**多田教育長** 議会で行っている事業との認識です。評価はしていません。

**5** 給付型奨学金

**問** 給付型奨学金について伺います。

**多田教育長** 検討の余地はあるという判断です。



# ▷これからの村の繁栄をいかに築くか

## ▷道の駅自然体感しむかっぶの運営管理

### 1 これからの村の繁栄をいかに築くか

**問** 占冠村は交通の要衝地として発展した。トマムリゾートという企業を抱え、安定した行政運営を推進しています。村長の現状認識を伺います。

**田中村長** 千人以上の人口を維持し、財政規模に見合った村づくりを進め、持続可能な村づくりに努めます。

**問** 2025年における道内市町村別推計人口が占冠村は807人との新聞記事について、村長が感じたことを伺います。

**田中村長** リゾートで得る財政的収入や交流人口を村の基幹産業と結び付けた活動を行い、人口を維持し次世代につないでいく努力を続けていきます。

**問** 人口減少は北海道全体に見られ、この要因は若い女性の道外流出による出生率の低下が大きいと考えられます。若者に働きかけ雇用を創り出す施策が求められると考えますが、村長の考えを伺います。

**田中村長** 若者に住んでもらえる条件を整備しようというの

が、私の子育て支援です。地域おこし協力隊も村の産業振興に努めてもらい、必要な政策について努力したいと思っています。

**問** 農地が1062haしかない村の農業には限界がありますし、92%の森林面積を持つといえほとんどが国有林では、林業にも限度があります。新しい産業を考えていかなければなりません。次世代半導体製造を指すラピダスの千歳進出で、千歳周辺に当たる占冠村に関連企業や研究機関等を誘致できれば、新たな産業の種を生むことができると思います。村長の考えを伺います。

**田中村長** ラピダスについては、千歳とは近いですから、関連したものができるとかどうかはこれからと思っています。情報をとらえてやることはやっ

**問** 道の駅は全国各地にその町の顔として展開をしています。村の道の駅を平日に訪れても休業・準備中の店舗が目につき、

### 2 道の駅自然体感しむかっぶの運営管理

**問** この管理者には本年度予算でも、指定管理料1450万円、運営管理補助金680万5千円、交流促進施設管理委託料420万円等々村から支出があ

道の駅を標榜するに値しない状態です。この状況を村長はどのように感じるか伺います。

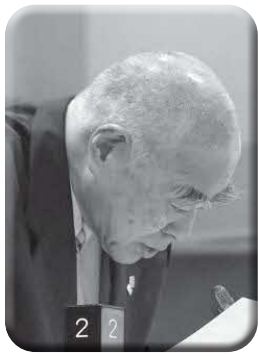
**田中村長** 指定管理者により休業日を調整するなどの対応を行っています。休業が多くなる見られることを見聞しています。村も管理者と協力し各使用者と対話し、イメージアップを図ります。

**問** 昨年9月末営業中の店舗が指定管理者より行政処分を受け営業を停止しました。悪評は顕著で利用者から管理者に対し対処を求める声があったにもかかわらず、対応が遅すぎました。管理運営に問題がないのか、村長の考えを伺います。

**田中村長** 村づくり観光協会及び村が苦情を受けた際は、内容を伝達し、指導、改善を求めました。充分な対応がみられず現在に至っているところで、看過してきたということではありません。

り、その他各店舗からの使用料や自店の営業利益もあり、きちんとした管理運営が望まれます。「道の駅」「道東道売店」は村の観光客への対応最前線での評価につながりますし、地域外のお金を稼ぐ大切な場所です。村長の考えを伺います。

**田中村長** 道の駅は観光施設という意味合いも高まってきています。イメージアップや来訪者の満足度アップを図るため、使用許可基準や審査基準等を作成して配布しました。令和6年度には周辺整備や利用促進方法の検討のため調査費を予算計上しました。



木村 一俊 議員



道の駅

おび  
小尾

まさひこ  
雅彦

議員



## ▷真冬の避難所対策について

### ▷村内各地区の避難所の現状や備蓄内容について

#### 1 真冬の避難所対策について

**問** 北海道推計で富良野断層帯の存在から、マグネチユード6ないし7の地震が発生した場合、上川管内では最大震度7となり、死者や重軽傷者、建物全壊や半壊が見込まれ、多くの避難者が想定されます。長引く避難所生活の備えとして、真冬の対応等を伺います。

**田中村長** 冬の備蓄品としては、ストーブ13台、毛布971枚の他、身体から放射される熱を反射し体温の低下を防ぐ防寒シートが175枚、携帯カイロ1290個、灯油180リットルなどを用意しており、今後においても必要に応じ充実に努めます。

#### 2 村内各地区の避難所の現状や備蓄内容について

**問** 現状として占冠中学校の生徒用トイレのスペースの手狭さや悪臭、排水状況が悪く早急に改善が要されます。各避難所施設の既設トイレの状況や不足が想定される簡易トイレの要介護者用数、身体障がい者用数、子供用数の備えについて伺います。

**田中村長** 各避難所の防災計画で想定している収容人数ですが、おおむね1730人が収容できる計画です。備蓄食料は、支給対象者660人を想定しており、1日3食分を備蓄しています。占冠中学校トイレの悪臭、排水に関する問題は、応急修繕でその都度対応していますが、構造的な問題に起因していることから、大規模修繕が必要と考えています。トイレ関係の備蓄については、障がい者等も利用できるトイレハウス6台、トイレ用 TENT 8張、段ボール製簡易トイレ30台等を用意しています。また、大人用紙おむつ351枚、幼児用おむつ840枚、非常用糞尿処理セット1000枚を用意しています。

**問** 自主的な防衛対策として村民個々の防災対策の備えの呼びかけが要されますが、その方策があれば伺います。

**田中村長** 避難所生活では、長期化するほど衛生状態や健康状態の悪化、感染症リスクなどが懸念されます。村では避難所における開設や運営を円滑に進めるために、令和2年度に避難所マニュアルを策定しています。

**問** ここ数年間では大きな災害には見舞われていませんが、本村では大雨による水害が想定されます。昨年、双珠別ダムの放流による鶴川との合流地点の河川内流木処理工事が実施されました。今後においても過去の降雨により、1級河川や普通河川農地沿いの沢内の倒木処理の状況や土砂の撤去が要される現状があります。村としての取り組みについて伺います。

避難所運営体制を発生後速やかに確立し、円滑に運営していくためにも、地域の皆様への避難所マニュアル等の周知、村内学校での防災教育や防災訓練の実施など住民の皆様への啓発に引き続き務めてまいります。

**田中村長** 防災対策の関係で双珠別川と鶴川の合流点、上流部で関係機関に継続して要望し、河川内の流木処理、堆積土砂の除去による線形の変更、浸食箇所への土盛り等が行われました。関係機関への要望の取り組みですが、富良野圏域連携協議会における河川整備に関する要望、また、旭川開発建設部社会資本整備推進会議において、鶴川、双珠別川、パンケシエル川、八戸沢側、13線沢をエリア分け

して要望書を作成し、要望活動を続けています。今年度は上トマム橋上流部の河道調査及び洗掘調査についても追加要望いたしました。今後の要望活動にあたっては、大きな事業予算を確保することが困難であれば一部だけでもいいので実施していただきたい旨の要望をしており、早急に事業を実施するとの回答には至っておりません。これまでも要望活動による河川改修の成果があり、事業の必要性を訴えながら継続して要望してまいります。

**再問** 村長、議長の要望活動が実り、今年も占冠のシム川合流地点でも真冬に工事が実施されました。今後、普通河川や農地沿いの沢は村管理なので早急な対処をどのように考えるか伺います。

**田中村長** 今後も道管理河川においてしっかりとした対策を工事していただくのが基本です。ので、北海道への再三再四の要望を続けて優先順位が上がらないのであれば予算の範囲内で危険箇所の工事について配慮していただくよう要望してまいります。

**田中村長** 今後も道管理河川においてしっかりとした対策を工事していただくのが基本です。ので、北海道への再三再四の要望を続けて優先順位が上がらないのであれば予算の範囲内で危険箇所の工事について配慮していただくよう要望してまいります。



1 公務員の副業・兼業

**問** 働き方改革の一環として、政府が民間企業の会社員副業・兼業を打ち出す中、地方自治体においても副業・兼業解禁に向けた動きが広がりがつつあります。国も2019年3月に公務員の兼業許可基準が明確化され、先駆けとなつている自治体は職員の地域活動への積極参加を促進し、公共性のある組織で副業に就きやすくするため、職員が職務外に報酬を得て地域活

▷ 公務員の副業・兼業

動に従事する際の基準を定め運用しています。

本村においても今後より厳しい自治体経営が予測される中、少子高齢化、担い手不足にあつて持続可能なまちづくりを進めていくには副業・兼業の基準を明確化することが、地域活動の人材を確保し、官民協働の村づくりにつながると思いますが、本村での職員の副業・兼業の現在の状況と取り組みについて伺います。

**田中村長** 本村においても、地域活動等の人材を確保するため、地方公務員法第38条第1項に基づきまして報酬等を受けることについての許可を個別、具体的に判断して行つているところです。現在この許可を受けている職員数は合計7名でありまして、その内訳は消防団活動3名、占冠村スポーツ推進委員1名、行政区活動1名、猟友会活動2名となっております。

**再問** 村で7名の方がこういう活動をしているとのことですが、よりこういったボランティア活動ですか、地域貢献に参加しやすい環境を作るうえでも基準を作るべきだと思います。5回定例会において、各議員から福祉、介護サービスと職場の現状について質問がありました。介護人材不足と負担は大きなも

のとその時に感じました。人材不足による事業の休止・廃止など今後の事業への支障が危惧されると思います。今後は少子高齢化、人口減が進み様々な職種で人材不足が深刻化する中、福祉人材、地域交通の確保、生活支援サービス、高齢者への買い物支援、スポーツ少年団のコーチ、人手が足りない農家や新聞配達の手伝いなど幅広い職種を想定した職員の副業、兼業許可基準を明確にすることにより地域貢献の活動の後押し、官民協働の村づくり、村の活性化に向けた取り組みをするべきと思いますが、このような考えはないか伺います。

**田中村長** 地域活動、兼業の基準というご質問であります。地域活動の人材を確保して官民協働のまちづくりに繋げるという視点に立つて行う兼業許可については、今後も継続をしていく予定です。どのような兼業に対して、どのような許可を行うかについては、取り組むべき地域課題の内容や、地域の要望、具体的な従事内容、職員の希望などにより決定すべきと考えられますので、あらかじめ明確な基準を定めて、それに縛られるのではなく、諸事情を総合的に考慮しながら柔軟に対応、判断してまいりたいというふうに考えています。



ふじおか  
幸次 議員

▷ 農地の地域計画に向けた行政推進策  
▷ 企業版ふるさと納税830万円達成！  
▷ 湯の沢温泉木質バイオマス  
ボイラー・ボイラー室の効率改善

1 農地地域計画の行政推進策

**問** 令和5年4月1日付け農地法改正に伴う農地の地域計画策定にむけて、行政としてどの様にリードして推進をはかるのか伺います。

**田中村長** 農地の地域計画策定については、まず、農業者の合意を得たうえで本年10月をめどに目標地図を作製します。その後地域計画案を作成し、地域農業者への説明会を経て2週間の公告を行い、令和7年4月1日より地域計画に基づいた農地利用の運びとなります。

**問** 様々な規模の農家と地域がある中でどの様に推進するのか伺います。

**田中村長** 農業者および農業委員会の議論を経て各農家の意見を反映して、最終的な結論としたいと考えております。

**問** 農業委員会の役割が今回の取り組みにおいてもますます重要となつて、責任も増していますが、今後においても、継続的に見直し検討が必要と思われるが考えを伺います。

**田中村長** 農業委員会と農林課一体となり、情報の共有を密に

推進していく中で、農業委員の報酬についても今後全体とのバランスをはかりながら判断していきます。

**2 企業版ふるさと納税の取り組み**

**問** 今年度初めてとなる企業版ふるさと納税の実績と内容について伺います。

**田中村長** 占冠村が国の認定を受けた地域再生計画に対して、賛同をいただいた3企業より総額830万円の寄附をいただきました。また、地域包括支援連携協定を結んでいる北海道銀行と寄附企業とのマッチング支援について契約を結んでいます。

**問** 特に評価の高かったのは何か、また、今後に向けての取り組みについて伺います。

**田中村長** 高評価として、メープルシロップの生産について700万円の寄附をいただきました。今後についてもマッチング支援を有効に活用して、占冠応援団獲得に努めて寄附金を地域振興に繋げていきます。

**3 湯の沢温泉木質バイオマスボイラーの効率改善**

**問** 湯の沢温泉木質バイオマスボイラーはカーボンリサイクルの取り組みとして運転を開始し現在に至っていますが、ボイラーと建屋の熱効率改善が必要と思われるが考えを伺います。

**田中村長** 一村一エネルギー事業を活用して、村有林から発生する間伐材と未利用材を活用し、平成25年12月より稼働しています。熱効率については運営当初より、薪の消費と重油の消費量に大きな変化は見られない為、今後においても現状施設での稼働を継続していく考えです。今後、事業者とも相談しながら進めていきます。



湯の沢温泉ボイラー

小林 潤 議員



▷湯の沢温泉の熱交換器の修繕(取替)について

**1 湯の沢温泉施設の計画的な修繕について**

**問** 湯の沢温泉は、食塩泉で村内外の利用者から「湯冷めしにくい」と人気があります。浴槽の清掃は週に1回火曜日に行っており、清掃後に冷泉を適当な温度に温め浴槽に注いでいます。冬場ですと、朝9時に浴槽に湯を張り始めても夕方4時の入浴開始時刻に湯量が間に合わないことがあります。現在の熱交換器は、2000年に取り替えた物で、水漏れも確認されており、熱交換器の性能低下により、温泉運営に支障をきたす状況であります。今後、修繕計画があるのか伺います。

**田中村長** 指定管理者に確認したところ2台ある熱交換器のうち、清掃後にお湯の入替え用に利用する熱交換器が経年劣化により水漏れが生じているとのことでした。このため、季節にもよりますがお湯入替えの時には、水温の上昇に時間を要することもあり、入浴のお客様には事前にその旨を説明し、ご理解をいただきながら対応しているとのことでした。

湯の沢温泉の修繕については、村と締結しております基本協定におきまして30万円以下は指定管理者が負担する取り決め

となっております。現在、指定管理者により修繕にかかる見積もりを業者に依頼済みです。で、金額次第で村、または指定管理者が修繕することになると考えています。

**問** 新年度予算でも計上されておりませので、令和6年度の補正予算で対応するという理解が良いのか伺います。

**田中村長** 見積書が届き次第、予算対応をさせていただくということになると思います。今後も施設の維持、管理、修繕につきましては指定管理者と情報の共有を図りながら緊急性と優先順位を考慮しながら対応していきます。



湯の沢温泉熱交換機



おおたに  
もてえ  
大谷 元江 議員



# ▷双珠別川の砂利処理の進捗は

## ▷指定管理者と村との関係



双珠別川

### 1 双珠別川の砂利処理の進捗は

**問** 河川の砂利処理は、国や道の管理なので、毎年要望活動を行っていただいていると思いますが、一部を先行して村ができるか伺います。

**田中村長** 増水時に河川が隣接する畑、草地に被害を及ぼしていることから、築堤及び護岸整備

備、土砂除去を北海道に要望しております。できる予算でその部分だけでも、申し上げています。国においては浚渫（しゅんせつ）債が創設されましたので、道の起債により、実施可能になるのではないかと改めて要望しています。

**問** 双珠別川の流れの変化により、流域で生活している方々は、毎年、心配している状況だと思いますが、村長の考えを伺います。

**田中村長** 双珠別川沿いの危険箇所については個別に対応していただけるよう、村として強く要望する以外にないと考えています。

**問** 本流に流れ込む支流の管理が村側に増加されているようです。支流から出る砂利が本流の川底砂利増加に関係していると考えますが、この砂利の流出を減らす対策は取られないのか伺います。

**田中村長** 村管理河川、沢については民有林治山事業で土砂ダム、土留めダム等を施工しておりますし、流末についても水路整備等を行っております。

### 2 指定管理者と村との関係

**問** 指定管理者とは3年、5年の契約を結ばれていますが、関わり方等、村はどのような打ち合わせを行っているか伺います。

**田中村長** 介護施設とまぐる、道の駅、湯の沢温泉、双民館、トマム給油所の5施設において指定管理者を選定し、協定を締結しております。定期的な打ち合わせは、施設によってその対応は異なりますが、協定書に基づく毎月の報告書等により情報共有や意見交換を行っております。介護施設については2カ月に1回、運営会議を開催し、情報共有を図っております。

**問** 担当者異動時の引継ぎはど

のようにされているのか、一本筋の通った対応がされなければ、担当者の考え方が指定管理者に影響があらはならないと考えますが、伺います。

**田中村長** 人事異動等で担当者が変わった時の業務の引継ぎは、書面による引継ぎ、現地確認、顔合わせ等を行い、空白のない対応をしております。



トマムスタンド

# 令和6年度予算 35億3,188万円8千円を議決



木村委員長

## 令和6年度 各会計別予算

会計別	予算額	前年度比
一般会計	28億200万円	5.38%
特別会計	3億8,520万円	▲38.62%
国民健康保険	1億4,050万円	▲4.16%
村立診療所	8,320万円	▲0.72%
介護保険	1億1,660万円	▲10.99%
後期高齢者	2,230万円	10.95%
歯科診療所	2,260万円	▲0.44%
公営企業会計	3億4,468万8,000円	100.00%
簡易水道事業会計	1億8,585万2,000円	100.00%
公共下水道事業会計	1億5,883万6,000円	100.00%
予算総額	35億3,188万8,000円	7.46%

### 一般会計

#### ◎歳入

問 村民税の個人、法人での増減理由を伺います。  
(藤岡委員)

予算特別委員会（木村委員長）を3月13日に開催し、活発な質疑が展開されました。質疑の内容をお知らせします。（傍聴者0人）

【三浦総務課長】まず個人ですが均等割額が森林環境税の導入に伴い、変更されるためです。所得割について令和5年度の調定見込みを参考にしたところ、増額になっております。法人税は、事業者数は変わりませんが、均等割の区分が変わった事業者が1社あったため減少し、法人税割の方は増加しております。

問 固定資産税の土地、家屋、償却資産の増減理由を伺います。  
(藤岡委員)

【三浦課長】土地については評価替えによるものです。家屋については過疎地税制の課税免除を利用しない事業者があったためです。償却資産については、1年あたりの減価係数で計算された結果です。

問 森林環境税と税の用途を説明してください。  
(藤岡委員)

【杉村林業振興室長】公共公有林整備工事、北海道林業木材産業人材育成支援協議会賛助金、林業労働者退職金共済制度補助金、民有林振興造林事業補助金、木質バイオマスエネルギー導入促進事業補助金、地域林業振興事業補助金、林業担い手対策事業補助金、林業労働安全推進事業補助金等が用途となります。

問 母子保健医療対策総合支援事業等国庫補助金の事業内容を伺います。  
(藤岡委員)

【伊藤住民課長】妊産婦及び乳幼児等に対して各種相談や健康の保持、増進に関する事業を実施することにより、切れ目のない妊婦出産等の支援を推進することを目的とする国庫補助金です。

問 道路橋梁費補助金での道路メンテナンス事業と社会资本整備総合の内容を伺います。  
(藤岡委員)

【小林建設課長】道路メンテナンス事業は橋梁の実施設計、橋梁の補修工事の補助金となります。社会资本整備総合交付金は、除雪トラックの更新に関わる補助金となります。

問 地域づくり総合交付金が令和5年度の補正後と比較し半分以上となっていますが、その用途と理由を伺います。  
(藤岡委員)

【三浦課長】ふるさと祭り記念事業、福祉灯油、鹿対策に関するものに充てます。申請の案内が来ましたら、その都度活用したいと考えています。現状では不足していることはありません。

問 国政調査調査区設定委託金の内容を伺います。  
(藤岡委員)

【平岡企画商工課長】令和7年に行われる国勢調査の準備調査です。

問 村有地等貸付料の件数と場所、貸付料の内訳を伺います。  
(藤岡委員)

【三浦課長】貸付件数は二二ウ、占冠、双珠別で44件、トマムで10件です。貸付料金は原則1㎡当たり20円で積算しております。

問 家畜貸付金収入と農業振興資金貸付金収入の内容を伺います。  
(藤岡委員)

【鈴木農林課長】家畜貸付金収入は家畜導入に掛かる貸付金となります。農業振興資金貸付金収入は、道営草地基盤整備事業受益者分担金に掛かる貸付金となります。

問 デジタル基盤改革支援補助金の内容を伺います。  
(藤岡委員)

【伊藤課長】戸籍住民基本台帳費に充てられているもので、社会保障番号システム整備委託料の財源とするものです。

問 地方交付税が減額となった最たる根拠を伺います。  
(小尾委員)

【三浦課長】税、使用料などの自主財源の増加、公債費の減少、歳入予算割れの防止が理由とな



ります。

**問** 立木売却収入の予定数量と事業名を教えてください。

(小尾委員)

**杉村室長** 村有林保育間伐工事ソーウナイ地区で2基盤4・72ha、1300m、落合地区では2基盤9・12ha、429mを予定しております。

**問** いきいきふるさと推進事業助成金の内容を伺います。

(小尾委員)

**平岡課長** テレビ放送局と契約を締結し、本村を広くPRするため、テレビ番組を制作するものです。50回目となる「ふるさと祭り」と絡めながら番組を制作するとともに、村内の撮影場所を検討したいと考えております。

**問** 物産館使用料は4車線化の開通までと考えてよろしいか伺います。

(大谷委員)

**平岡課長** 占冠村インターチェンジまでの4車線化が終わるまでの使用と考えております。その先は不確定です。

◎ 歳出

〔総務費〕

**問** 平和教育視察研修事業補助金が生徒数が減少したにもか

わらず、増額となった理由を伺います。

(下川委員)

**三浦課長** 予算作成時、中学校1、2年生を派遣する可能性があったため増額計上になっております。

**問** 4件の住民センター委託料の内容を伺います。

(藤岡委員)

**三浦課長** 1点目の住民センター管理委託料は、双珠別住民センター、美園集会所、川添集会所の管理委託料で、2点目の消防設備保守点検委託料もこれらの施設の点検管理委託料となります。3点目の浄化槽管理委託料は双珠別住民センターとなります。4点目の雪下ろしに関するものも3か所の集会所の予算です。

**問** 用地測量等委託料の内容を伺います。

(藤岡委員)

**三浦課長** 上トмам地区の4筆購入するうち、活用が異なる1筆の分筆測量の委託料となります。

**問** 特産品開発委託料の内容を説明願います。

(藤岡委員)

**平岡課長** 新たな特産品としてジンを1000本、メープルシロップを活用したリキュールを1000本を計画しております。委託の内容は製造、製品開発、販売促進等となります。

**問** 南富良野町営バス利用負担金の内容を伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 根室線廃止に伴い、南富良野町と占冠村村営バスとの総合連携を図るため、高校生がそれぞれのバスを利用した場合、2分の1を負担金として支払うものです。

**問** 総合グラウンド整備委託料の内容を伺います。

(藤岡委員)

**三浦課長** 令和6年度に開催される富良野沿線消防訓練大会の会場となることから、その整備を行う費用となります。

**問** トмам地区公園整備工事の内容と今後何年で終わるのか伺います。

(小尾委員)

**石坂トмам支所長** ワークショップを開催し、整備内容を決定したいと考えています。今後の計画についてもワークショップで議論いたします。

**問** 占冠村高齢者安全運転支援事業補助金では安全運転の補助金を付けることはできますか。

(大谷委員)

**三浦課長** ブレーキとアクセルの踏み間違いを防止する装置を付ける場合の上限5万円の補助金となります。件数は2件です。

**問** 徴税費の過誤納還付金の件数を伺います。

(大谷委員)

**三浦課長** 特段の事情がない限り、この範囲で収まると考えております。件数は特に定めていません。

〔民生費〕

**問** 社会福祉総務費の修繕料の内容を伺います。

(細谷委員)

**岡崎福祉子育て支援課長** 「とま」のフローリング、ヒートポンプ、無停電装置に関わる費用となります。

**問** 児童福祉費の工事請負費の内容を伺います。

(細谷委員)

**岡崎課長** 占冠保育所とトмам保育所にエアコンを6台設置する予定となっております。

**問** 公共交通空白地有償運送サービス利用料助成金の利用状況等実績について伺います。

(藤岡委員)

**岡崎課長** 介護認定を受けている方、障がい者手帳をお持ちの方に社会福祉協議会で運送サービスを行うもので、帯広市、富良野市、札幌市などを行先として、年間19件ほどの利用回数となっております。

**問** 特別養護老人ホーム等利用者補助金の内容を伺います。

(藤岡委員)

**岡崎課長** 社会福祉法人が運営する施設を利用して、非課税世帯の方が入所している施設に利用者負担金の一部を村が補助するものです。

**問** 産後ケア事業委託料は、受託医療機関によって、受診できるのは1年末までであるとか、あらかじめ決まっているのか、また、途中から6カ月までしか受診できない病院からの変更は可能か伺います。

(下川委員)

**伊藤課長** 必要であると判断された場合、医療機関と調整し、できるだけケアするよう努めなければならぬと考えております。

〔農林業費〕

**問** 双民館周辺草刈委託料を新たに予算計上した理由を伺います。

(藤岡委員)

**鈴木課長** 施設敷地内に著しく成長した草の掻き起こし、破碎処理等を行うため計上しました。

**問** 林業指導員関連予算が計上されていないが、業務遂行に支障はないか伺います。

(藤岡委員)

**杉村室長** 林業専門職を募集するも採用には至らなかったため、引き続き確保に努めると

もに、林業振興室職員のマンパワーを十分に発揮し、業務遂行に支障のないよう努めます。

**問** メープルシロップ煮詰め窯製作委託料の内容について伺います。  
(藤岡委員)

**杉村室長** メープルシロップの生産性向上を目的として、煮詰め用の鍋、土台となる窯の製作を行うものです。

**問** 村の木活用事業委託料の具体的な内容と委託先について伺います。  
(藤岡委員)

**杉村室長** メープルシロップの生産体制強化のため、備品購入や建物の補修・改修などを行います。委託先は村内事業体及び個人を考えています。

**【商工費】**  
**問** 新たに採用予定の地域おこし協力隊員の任務内容を伺います。  
(小林委員)

**平岡課長** SNSを活用した観光情報の発信、観光資源の開発や掘り起こし、各種観光プログラムの企画立案等、占冠村の観光振興に係る活動を想定しています。

**問** 物産館2階食堂のエアコン設置は村が行うものなのか伺います。  
(細谷委員)

**平岡課長** 施設の構造上網戸等

の対策ができないことから、施設設置者として村が実施するものです。

**【土木費】**  
**問** 村道等管理委託料が前年度比で1488万1千円の増額となった理由を伺います。  
(小尾委員)

**小林課長** 国が公表した令和6年度労務単価が前年度と比較して上昇しており、除雪業務を中心に増額計上しました。

**問** 村道測量委託料の具体的な内容について伺います。  
(藤岡委員)

**小林課長** 村道占冠5号線に係る用地境界の復元測量、用地確定測量を行うものです。

**問** 村道東1線雨水排水管増設工事の内容を伺います。  
(小尾委員)

**小林課長** 当該路線への雨水流入を解消するため、雨水排水管、木製路面排水溝、雨水枳を新設するものです。

**問** 防雪柵設置工事の実施箇所、延長を伺います。(大谷委員)

**小林課長** 上トمام地区の村道に設置するものです。延長は180mです。

**問** 除雪トラックの新規購入に

あたり、既存車両の使用年数、走行距離を教えてください。  
(小尾委員)

**小林課長** 令和5年度末で丸20年が経過し、走行距離は約31万kmであります。

**問** 道路新設改良費中の測量委託料について伺います。  
(小尾委員)

**小林課長** 道の駅周辺の村道整備に係る測量設計業務であり、令和6年度においては基本計画、地形測量、概略設計等を実施する予定です。

**問** 占川橋、林友橋補修工事の内容を伺います。  
(細谷委員)

**小林課長** いずれも下部工、支承工、護岸護床工を予定しています。

**問** 住宅管理費における修繕料の内容を伺います。(大谷委員)

**小林課長** 村営住宅、地域振興住宅、教員住宅等の修繕費用として計上しました。

**問** 宮下B団地解体工事費にアスベスト調査・処理費用が含まれているか伺います。(小尾委員)

**小林課長** 事前のアスベスト含有調査費用を含んでいます。

**問** 地域振興住宅管理委託料が未計上となった経緯を伺い

ます。  
(藤岡委員)  
**小林課長** 管理人が欠員となったため予算計上を見送りました。引き続き後任者の選任に努めます。

**問** 地域振興住宅改修工事の内容を伺います。  
(小尾委員)

**小林課長** 二部屋について壁、天井及び床の張替え、電気配線の改修を行うものです。

**【教育費】**  
**問** 占冠アスペン中学生短期交換留学事業補助金720万円の算出根拠を伺います。  
(大谷委員)

**木村教育次長** 受入9名、派遣10名分として計上しました。コロナ過により派遣できなかった高校生にも声掛けを行います。

**問** 学校運営協議会委員報酬が前年度比で減額となった理由を伺います。  
(藤岡委員)

**木村次長** 前年度は3校分を計上しましたが、令和6年度は中央小と占冠中で1協議会、トمام学校で1協議会、計2協議会分を計上しました。

**問** トمام学校スクールバス運行委託業務の業務内容を伺います。  
(小尾委員)

**木村次長** 学校から4km以上離れた場所に居住する児童が入学

するため、登下校時の送迎をするものです。

**問** 小学校費中、教育振興費に係る消耗品費が大幅な増額となった理由を伺います。  
(小尾委員)

**木村次長** 令和6年度が小学校用教科書の改訂年であり、教師指導用の教科書を購入するため大幅な増額となりました。

**【諸支出金】**  
**問** 土地購入費の内容を伺います。  
(下川委員)

**三浦課長** 山林2か所の購入を予定しています。

### 国民健康保険特別会計

**問** 国民健康保険税のうち、介護納付金現年課税分のみ増加した理由を伺います。(細谷委員)

**伊藤課長** 課税標準額の試算結果によるものです。

**問** 保険給付費交付金(特別交付金)の増額理由を伺います。  
(細谷委員)

**伊藤課長** 医療費水準に係る納付金補正措置が廃止され、今後3年間、激変緩和措置として北海道から当該交付金が交付されるため増額となりました。

**問** 国民健康保険事業納付金の



増減理由を伺います。

(小尾委員)

**伊藤課長** 北海道において必要額が算出され、被保険者数等に応じて市町村へ納付額が示されます。試算の結果、本村においては医療給付費分が279万7千円、後期支援金分が169万2千円の減額、介護納付金分が32万8千円の増額となりました。

### 村立診療所特別会計

**問** 占冠診療所分の諸検査等収入が大きく増額した理由を伺います。

(細谷委員)

**伊藤課長** 新型コロナウイルス及び带状疱疹ワクチン接種料として計190万円を見込んだことによりです。

**問** 占冠診療所用の発熱外来用プレハブリース料が計上されているが、新型コロナウイルスが5類に移行したことも踏まえ、別な接種方法の検討も必要と思うが見解を伺います。

(下川委員)

**伊藤課長** 患者専用の出入口が1か所しか設けられないため、発熱外来はプレハブで対応していますが、他の医療機関の状況も踏まえながら検討します。

### 介護保険特別会計

**問** 調整交付金の減額理由を伺

います。

(細谷委員)

**岡崎課長** 交付金の算定基準となる保険給付費の減少を見込んでいることによりです。

**問** 介護納付費負担金の減額理由を伺います。

(小尾委員)

**岡崎課長** 調整交付金と同様、保険給付費の減少を見込んでいます。

### 後期高齢者医療特別会計

**問** 後期高齢者医療保険料に係る特別徴収、普通徴収の人数について伺います。

(細谷委員)

**伊藤課長** 特別徴収125人、普通徴収42人、計167人で積算しています。

**問** 雑入の増額理由を伺います。

(細谷委員)

**伊藤課長** 広域連合からの保険料還付金を計上しました。

### 歯科診療所特別会計

**問** 前年同水準の診療収入が計上されていますが、前年度は大幅な減額補正を行っており、積算に問題はないのか伺います。

(細谷委員)

**伊藤課長** 令和3年度、4年度の収入実績を基に積算しましたが、当該収入が落ち込んだ場合は状況を見て対応します。

### 簡易水道事業会計

**問** 長期前受金戻入収入の内容について伺います。

(小林委員)

**小林課長** 長期前受金戻入は、資産の減価償却費に含まれる国庫補助金や道補助金、工事負担金、一般会計繰入金、受贈財産評価額などを収益化するものであります。

公営企業会計への移行にあたり、固定資産台帳の整理を行う中で令和6年度は4788万1千円を計上しました。

**問** 年間給水予定水量71万6千m<sup>3</sup>について、過去のデータと比較すると過少と思われるが問題はないのか伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 経営活動の目標の概要であり、収入支出予算の執行等を拘束するものではありません。必要であれば補正で水量の変更をする考えです。

**問** 当年度利益剰余金の処分額574万8千円の算出根拠を伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 減価償却費、賞与引当金繰入額、法定福利費引当金の合計額8117万7千円から、長期前受金戻入4788万1千円を差し引き、引き継ぎ金950万円を加えた4279万6千円が当年度損益勘定留保資

金となります。

資本的収支不足額4854万4千円から、当年度分損益勘定留保資金4279万6千円の差し引いた額が、当年度利益剰余金574万8千円でありです。

**問** 貸借対照表中、未収金63万570円の内容について伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 現年度分で18万円、滞納繰越分で45万570円を見込んでいます。

**問** 有形固定資産減価償却費における償却方法は定率法、定額法いずれを採用するのか、また、それぞれの耐用年数を伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 定額法を採用しています。耐用年数は地方公営企業法施行規則の別表第2表を適用しています。

### 公共下水道事業会計

**問** 当年度分損益勘定留保資金1517万4千円の算出内容について伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 減価償却費4082万8千円から長期前受金戻入1979万9千円を差し引き、当年度収益的収支184万円を加えた2286万9千円のうち、1517万4千円を充当するものです。

**問** 未収金610万円の内容について伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 下水道使用料20万円、社会资本整備総合交付金310万円、資本費平準化債として下水道事業分230万円、浄化槽事業分50万円を見込んでいます。

**問** 延滞金中、下水道分の滞納繰越分12万円の根拠を伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 滞納料金に係る分割納入額を計上しております。

**問** 公共下水道事業公営企業会計運用支援業務の支出はいつまで続くのか伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 公営企業会計移行後3年間に限り起債措置がありますが、翌年度以降については未定です。

**問** 占冠村下水道ストックマネジメント計画策定委託業務の内容について伺います。

(藤岡委員)

**小林課長** 令和6年度と7年度の2か年で、処理場、マンホールポンプ施設のストックマネジメント計画を策定するものであり、1年目は対象施設の点検調査、2年目は施設の評価及び改築更新計画の策定を行う予定です。

# 議員の主なうごき

令和5年12月定例会以降の議員の動向

- |         |   |       |                  |
|---------|---|-------|------------------|
| 12月 15日 | 広報特別委員会(全委員)  | 3月 3日 | 村民スキー大会(議長)      |
| 21日     | 富良野沿線市町村議会議員研修会<br>(富良野市-全議員)                                     | 7日    | 第2回占冠村議会定例会(全議員) |
| 1月 5日   | 消防出初式(各議員)  | 15日   | )                |
| 6日      | 占冠村二十歳を祝うつどい(議長)  | 13日   | 予算特別委員会(全委員)     |
| 6日      | 姉妹都市アスペン市親善訪問<br>)<br>(アスペン市-副議長・下川議員)                            |       |                  |
| 13日     |   |       |                  |
| 15日     | 広報特別委員会(全委員)  |       |                  |
| 19日     | 全員協議会(全議員)  |       |                  |
| 22日     | 上川町村議会議長会役員会(旭川市-議長)  |       |                  |
| 23日     | 広報特別委員会(全委員)  |       |                  |
| 25日     | 第1回占冠村議会臨時会(全議員)  |       |                  |
| 29日     | 富良野地域人材開発センター連絡会議<br>(議長・副議長)<br>富良野沿線市町村長・正副議会議長合同<br>会議(議長・副議長) |       |                  |
| 31日     | 中学生短期交換留学事業(派遣)報告会<br>(各議員)                                       |       |                  |
| 2月 7日   | 上川教育研修センター組合議会第1回定例<br>会議(議長)                                     |       |                  |
| 19日     | 上川町村議会議長会定期総会(議長)   |       |                  |
| 22日     | 全員協議会(全議員)  |       |                  |
| 28日     | 議会運営委員会(全委員)  |       |                  |

## 【富良野広域連合】

- |        |                                    |
|--------|------------------------------------|
| 1月 22日 | 富良野広域連合議会議員勉強会<br>(細谷議員・下川議員・小林議員) |
| 2月 14日 | 議会運営委員会(富良野市-細谷議員)                 |
| 20日    | 第1回定例会(富良野市-細谷議員・下川議員・小林議員)        |



占冠中学校入学式

## 議会はどなたでも気軽に傍聴することができます

傍聴するのに特別な服装や準備は必要ありません。途中入場や途中退場も自由です。傍聴人は自由に写真やビデオを撮ったり、録音することができます。議場は総合センター(役場庁舎)3階です。お気軽においでください。



児玉議長



大谷副議長

今後の  
予定

6月定例会 → 6月20日(木)・21日(金)

※いずれも午前10:00開会  
※議事内容等により、日程を変更する場合があります。

## 編集 後記

3月定例会は毎年新年度予算が審議され、村政執行方針、教育行政執行方針に対して各議員からの質疑が行われ、深く議論する事が出来たと思います。

また令和6年度一般会計予算及び各会計予算についても予算特別委員会でも予算に盛り込まれた事業の背景、提案に至る経緯など熱心な質疑が行われました。

新年度からは上下水道事業のストックマネジメント計画、公営企業会計と新たな取り組みが本格スタートとなる年です。村民の皆様から求められる様々な課題を解決し、村民サービスの向上に努め、村政参画を促進するため、活発な議会活動を村民の皆様にお伝えしていきたいと考えています。

(細谷)

### ▼議会広報特別委員会(前期)

委員長	大谷 元
副委員長	木村 誠
委員	細川 園
委員	下川 子

### 議会事務局職員紹介

4月1日付けで事務局員の人事異動がありましたのでお知らせいたします。

(新) 事務局長 高 桑 浩  
(旧) 平 川 満 彦

### 広報からのお知らせ

各行事等では広報の取材・写真撮影をさせていただいています。広報への掲載をご承諾いただけない場合は、その場でお申し出いただくか事務局までご連絡ください。

発行:占冠村議会 編集:議会広報特別委員会

〒079-2201 北海道勇払郡占冠村字中央 TEL 0167-56-2191 FAX 0167-56-2184  
URL <https://www.vill.shimukappu.lg.jp>



見やすく読みまちがえにくい  
ユニバーサルデザインフォントを  
採用しています。